

医療機関における「治療と仕事の両立支援」の取組み状況調査

平素より、広島産業保健総合支援センターの事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、広島産業保健総合支援センターでは、働き方改革実行計画の主要事業の1つである「治療と仕事の両立支援」の取組み推進に向けて、標記調査を実施いたします。

つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

調査対象：広島県内の全医療機関（クリニックを除く）

実施期間：令和4年9月16日（金）～10月5日（水）

回答締切：令和4年10月5日（水）

治療と仕事の両立支援とは

「病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者が、仕事を理由として治療機会を逃すことなく、治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと就労を続けられる」ための支援を言います。（治療と職業生活の両立等の支援に関する検討会報告書 2012年8月8日引用）

※特に指定のない場合は、最も近いものを一つ選択してください。

複数回答可の質問に関しては、当てはまるものすべてを選択してください。

* 必須

1. 回答される方の部署（所属） *

答えの選択



2. 回答される方の職種 *

答えの選択



3. 貴院の医療機能について教えてください。 *

答えの選択



4. 一般病棟はありますか。 *

答えの選択



5. 一般病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

6. 地域包括ケア病棟はありますか。 *

答えの選択



7. 地域包括ケア病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

8. 回復期リハビリテーション病棟はありますか。 *

答えの選択



9. 回復期リハビリテーション病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

10. 外来はありますか。 *

答えの選択



11. 療養病棟はありますか。 *

答えの選択



12. 療養病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

13. 緩和ケア（ホスピス）病棟はありますか。 *

答えの選択



14. 緩和ケア（ホスピス）病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

15. 障害者施設等一般病棟はありますか。 *

答えの選択



16. 障害者施設等一般病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

17. 特殊疾患病棟はありますか。 *

答えの選択



18. 特殊疾患病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

19. 精神科病棟はありますか。 *

答えの選択



20. 精神科病棟は何床ですか。 *

値は数値にする必要があります

21. 以下の指定を受けていますか。（複数回答可） *

がん診療連携拠点病院（国・県）

肝疾患診療連携拠点病院

難病診療連携拠点病院

難病診療分野別拠点病院

難病医療協力病院

認知症疾患医療センター

てんかん診療拠点病院

それ以外

当てはまるものはない

22. 配置されている職種（複数回答可） *

- 医師
- 薬剤師
- 保健師
- 助産師
- 看護師
- 管理栄養士・栄養士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 公認心理師
- 臨床心理士

23. 「治療と仕事の両立支援」を知っていますか。 *

答えの選択



24. 「両立支援」に関する相談窓口は設置されていますか。 *

答えの選択



25. 「両立支援」の相談窓口には専任の担当者がいますか。 *

答えの選択



26. 患者（労働者）の就労状況が把握できる仕組みがありますか。 *

答えの選択



27. 相談できる体制が、院内で周知・広報されていますか。 *

1	2	3	4
---	---	---	---

されている

されていない

28. 相談できる体制が、院外で周知・広報されていますか。 *

1	2	3	4
---	---	---	---

されている

されていない

29. 担当者の持っている免許・資格（複数回答可） *

- 医師
- 薬剤師
- 保健師
- 助産師
- 看護師
- 管理栄養士・栄養士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 公認心理師
- 臨床心理士
- 関連する資格は持っていない

30. 両立支援コーディネーター基礎研修の受講者はいますか。（複数回答可） *

- 「両立支援」に関する担当者が受講した
- 「両立支援」に関する担当者以外が受講した（過去の担当者も含む）
- 院内に受講者はいない
- 把握していない

31. 私傷病（労災を除く）の患者（労働者）から、「両立支援」の相談がありましたか。 *

答えの選択



32. 支援した私傷病の患者（労働者）の主な疾患（複数回答可） *

- がん
- 脳血管疾患
- 肝疾患
- 難病
- 心疾患
- 糖尿病
- 若年性認知症
- 精神疾患（若年性認知症を除く）
- 上記疾患以外

33. 私傷病の患者（労働者）への相談支援において、「両立支援」を行いましたか。 *

答えの選択



34. 私傷病の患者（労働者）への相談支援は誰に行いましたか。（複数回答可） *

- 患者本人
- 家族
- 企業
- サービス支援者（相談支援専門員、介護支援専門員）
- 社会保険労務士
- その他

35. 私傷病の患者（労働者）への相談支援内容（複数回答可） *

- 新たに制度導入を提案（例：傷病休暇、時間単位の有給休暇、短時間勤務など）
- それまでにあった企業の制度を活用（例：傷病休暇、時間単位の有給休暇、短時間勤務など）
- 社会保障制度などを活用（例：傷病手当金、障害者雇用、介護保険など）
- 企業内の他職種との連携（例：産業保健スタッフ、労務管理スタッフ、社会保険労務士など）
- 企業外の他機関・他職種との連携（例：ハローワーク、障害者職業センター、介護支援専門員など）
- 労働環境の調整（例：対象者の配置転換、通勤方法、休息場所など）
- 企業内への周知（例：社員・役職者へ説明、病気・障害の理解、対象者への配慮など）
- その他

36. 業務災害や通勤災害による患者（労働者）からの「両立支援」の相談がありましたか。 *

答えの選択



37. 労災が適用された傷病（複数回答可） *

- 脳血管疾患
- 虚血性心疾患
- 切断
- 脳外傷
- 脊髄損傷(頸髄損傷を含む)
- 腰痛
- 振動障害
- 中毒
- 火傷
- 石綿
- じん肺
- 伝染病
- 放射線被ばく
- 化学物質によるがん
- 精神疾患
- その他

38. 業務災害や通勤災害による患者（労働者）への相談支援において、「両立支援」を行いましたか。 *

答えの選択



39. 業務災害や通勤災害による患者（労働者）への支援内容（複数回答可） *

- 新たに制度導入を提案（例：傷病休暇、時間単位の有給休暇、短時間勤務など）
- それまでにあった企業の制度を活用（例：傷病休暇、時間単位の有給休暇、短時間勤務など）
- 社会保障制度などを活用（例：休業補償給付等）
- 企業内の他職種との連携（例：産業保健スタッフ、労務管理スタッフ、社会保険労務士など）
- 企業外の手機関・他職種との連携（例：ハローワーク、障害者職業センター、介護支援専門員など）
- 労働環境の調整（例：対象者の配置転換、通勤方法、休息場所など）
- 企業内への周知（例：社員・役職者へ説明、病気・障害の理解、対象者への配慮など）

40. 「両立支援」について、お答えください。 *

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
貴院のスタッフは両立支援の必要性を十分知っていると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
貴院のスタッフは両立支援の知識を十分もっていると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
貴院の経営者・役職者は、両立支援の必要性を十分理解している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
院内には両立支援を行う体制が整っていない	<input type="radio"/>	やや <input checked="" type="radio"/> 当てはまる	あまり <input checked="" type="radio"/> 当てはまらない	当ては <input checked="" type="radio"/> まらない

患者（労働者）が所属する企業との連携はできている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
院内の専門的部署・専門職と、十分な連携ができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
院外の専門的機関・専門職と、十分な連携ができている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
両立支援に必要な企業がもっている制度十分周知できている（傷病手当、就業規則、福利厚生等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
両立支援に必要な公的制度やサービスは十分周知できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

41. 「両立支援」を行う場合、企業に何を望みますか。(複数回答可) *

- 患者（労働者）と企業が話し合って提供される勤務情報（業務内容）
- 患者（労働者）の疾患内容の理解
- 対象者が利用可能な社内制度の情報提供
- 元の業務に復帰する場合、必要な情報（職務内容、対人業務等）
- 元の業務に復帰できない場合、配置転換等に必要な情報
- 復職した場合の定着支援（環境整備、従業員の配置、同僚の理解等）
- 企業担当者との面談
- 特にない

42. 令和3年度において「療養・就労両立支援指導料」の評価を算定しましたか。 *

- した
- していない
- 令和2年度以前にした

43. 何件しましたか。 *

値は数値にする必要があります

44. これまでに広島産業保健総合支援センターのサービスを利用したことがありますか。*

	利用した	利用していない	知らない
産業保健関係者に対する専門的研修	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
産業保健関係者からの専門的相談対応	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
産業保健に関する情報提供・広報啓発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メンタルヘルス対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
治療と仕事の両立支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
事業主・社員に対する啓発セミナー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

45. 今後活用したいと思われる項目を選択してください。（複数回答可）

*

- 産業保健関係者に対する専門的研修
- 産業保健関係者からの専門的相談対応
- 産業保健に関する情報提供・広報啓発
- メンタルヘルス対策
- 治療と仕事の両立支援
- 事業主・社員に対する啓発セミナー
- 必要性がない

46. 広島産業保健総合支援センターが行う業務「治療と仕事の両立支援」について伺います。活用してみたい項目を選択してください。（複数回答可）*

- 両立支援を広く周知するための啓発セミナー
- 病院スタッフに対する知識やスキルを高めるための専門的研修
- 関係者からの電話・メール等による相談
- 病院への個別訪問支援
- 事業所と労働者間の具体的な事例に対する調整支援
- 特にない

47. 従業員50人未満の小規模事業所は、地域産業保健センターを利用できることを知っていますか。*

答えの選択



48. 地域産業保健センターのサービス内容を知っていますか。（複数回答可）*

- 労働者の健康相談(メンタルヘルス含む)
- 健康診断結果について医師からの意見聴取
- 長時間労働者や高ストレス者に対する面接指導
- 専門スタッフによる個別訪問指導

49. 「両立支援」に関して、ご意見・ご質問をご自由にお書きください。

50. 「広島産業保健総合支援センター」に関して、ご意見・ご質問をご自由にお書きください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms